

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	必修
担当教員	末吉 敬		
講義概要	①人間について考察し、人はなぜ教育を必要とするのか等教育の基本的な意味・意義についての理解を深める。 ②現在の日本、欧米、アジアにおける幼稚園、保育所、学校の歴史について知り将来のあり方をさぐる。 ③学校（幼児教育・保育を含む）における教育（保育）計画、評価、カリキュラムの歴史について具体的に理解する。 ④ケアリングとしての教育や発達障害と特別支援教育等幼稚園、保育所、学校における今日的課題について考える。 ⑤教師の仕事、子どもや親が望む教師像、教師と権威について考え、自己の教師像を確認する。		

授業計画	1	オリエンテーション ○人間と教育 「教育の必要性」「子どもの権利」
	2	人間と教育 ○人間と教育 「子ども観」「しつけ、過保護、過干渉」「教育の早期化」
	3	教育—その具体的な営み一 ○学校の歴史・しきみ 「日本・欧米・アジアの学校の歴史」
	4	教育—その具体的な営み一 ○学校の歴史・しきみ 「教育政策」「文部科学省と中央教育審議会」
	5	教育—その具体的な営み一 ○学校の歴史・しきみ 「フリースクール」「脱学校」
	6	教育—その具体的な営み一 ○学習・教育課程・学力 「教育目的・内容」「教育課程」「学習指導要領」
	7	教育—その具体的な営み一 ○学習・教育課程・学力 「評価」「学力」
	8	教育—その具体的な営み一 ○「教える」という仕事と学校文化 「教えと学び」「担任と仕事」「授業」「体罰と懲戒・人権教育」
	9	教育—その具体的な営み一 ○教師としての成長 「教師として成長するとは」「教師と権威」
	10	教育と学校の社会的基盤の広がり ○子どもへの支援と学校 「人間観の転換と臨床教育学の登場」「ケアリングとしての教育」「発達障害と特別支援教育」
	11	教育と学校の社会的基盤の広がり ○子どもへの支援と学校 「不登校」「いじめ」「学級崩壊」
	12	教育と学校の社会的基盤の広がり ○地域・社会と学校 「学校の社会機能」
	13	教育と学校の社会的基盤の広がり ○地域・社会と学校 「学校の安全とリスクマネジメント」「学者融合」
	14	今日的教育課題 ○集団討論会（教育の今日的課題をテーマ） 「個人研究→集団討論→代表者発表」
	15	今日的教育課題 ○集団討論会（発表会） 「発表会のまとめ」「これまでの学習を振り返り目指す教師像についてまとめる」

授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①子ども観の変遷と人間の「成長」と「発達」について知り、人間と教育について理解を深める。 ②他国の学校の歴史について概略を知り、自国とのそれと対比し考察する。 ③学校における教育課程について理解を深める。 ④教育と学校の社会的基盤の広がりと今日的教育課題について知り、その対策について理解を深める。 ⑤教師としての成長とは何かについて理解を深める。

	各授業ごとの小レポート（50%）、講義全体のまとめのレポート（50%）
教科書・参考書	テキスト：やわらかアカデミズム・（わかる）シリーズ『よくわかる教育原理』汐見稔幸・伊東 肇・高田文子・東 宏行 編著
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習】実習経験をふまえ、日常生活の中で自ら教育に対する考え方をもち授業に臨む。